

14 診+1 日目

● カルテ

20 時半、咳止め。鍼灸で疼痛の訴えは軽減している。

【転帰】

鍼灸治療介入全 11 回。

14 診+2 日後に死去。

【まとめ】

傾眠傾向もあり、また中途より見当識障害によりコミュニケーションが十分に取れる状態ではなかったため、数少ない評価法を用いて、評価した。

①浮腫

左側（患側）は一時的に軽減が認められたものの、状態悪化に伴い、悪化している。
左：鍼灸介入前 33 cm→最終治療日 33.4cm、
右：鍼灸介入前 32.7cm→最終治療日 27.4cm と左右で 6cm 差となった。これは、左側を下に側臥位になっている可能性もあるが、褥瘡予防のため、体位変換は行われているため、鍼灸による改善があったとも考える。

②痛み

腰背部痛はどれほど痛いのかを直接確認することは難しく、痛みがないといっても NRS：5 と答えるなど信憑性に欠けた。しかし、最終的評価にて、鍼灸治療介入することによって疼痛の訴えが軽減していると医療スタッフからのコメントがカルテより抜粋できた。

総合的に、「眠れない」といった訴えが頻繁にあったが、治療中はすぐに鼾をかい

て入眠されていたことから、鍼灸治療が心地よいものであったといえ、事実、日中ではあるものの、入眠している姿が多くみられていた。

また、後半になり、痛みを訴えない日もでてきたことから、効果はあったと考える。しかし、今回は不眠の治療はしていない。

本症例から、死前期に近づくにつれ、不定愁訴が多くなる。しかし、全ての愁訴に対して治療を行ってしまうと、刺激量が多くなり、悪化させる可能性がある。

そのため、治療部位の選穴が重要となり、また体動のできない患者に対し、四肢末端の軽微刺激の技術は必要不可欠ではないかと考える。

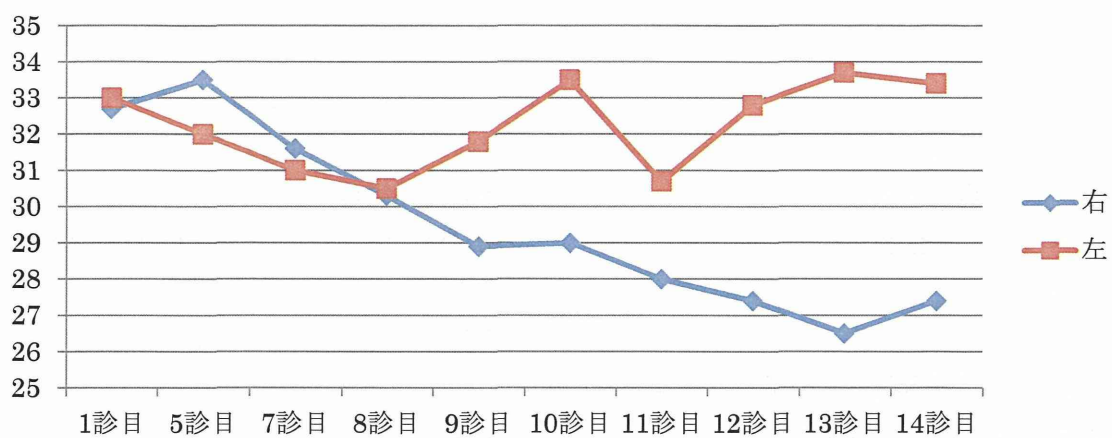


図2．両下腿浮腫、下腿周径

左下腿は体調の影響もあり、大きく変動することはなかったが、右下腿の周径は治療回数を重ねることにより、効果的に改善している。

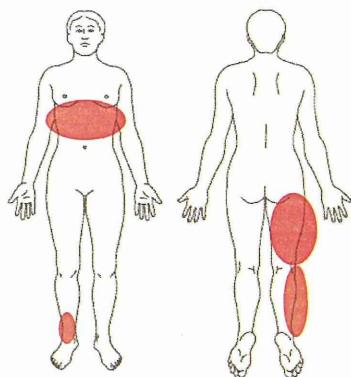
【症例】59 歳、女性

【傷病名】「葉状腫瘍」

(X-3 年 1 月に腫瘍摘出、X-1 年 8 月に右骨盤転移)

【治療目的】「腹部膨満感」放屁、排便をしても常に強い腹部膨満感があり、服薬でも効果不十分であったため鍼治療を医師より依頼された。

「右大腿外側後面痛」は入院前からあったものの、徐々に痛みが強くなった。腹部膨満感が軽減し始めたことにより、気になるようになり追加で治療を依頼された。



【現病歴】

X-3 年 1 月、左乳腺腫瘍摘出術、胆石は経過観察とする。X-1 年 7 月、誘因なく右股関節に痛みを訴える。8 月、近医整形外科を受診。骨盤腫瘍を疑い本院に紹介。股関節 ROM FULL、歩行時の痛みあり、圧痛なし、腫瘍触知したため、検査入院となった。生研の結果、C/W 葉状腫瘍転移、分子標的薬にて経過観察とし、後日再検を行った結果、腫瘍巨大化。痛みに対し、ロキソニン・MS コンチン 30 mg×3 を使用。12 月、

Positron Emission Tomography (PET 検査) を行い、再入院となる。また、12 月頭から右坐骨神経領域の痺れ、知覚鈍麻、運動障害(尖足)、EHL(TA)：0～1 といった症状が出現した。

抗がん剤治療のため、入院。

【所見】

リニアック時間のため脈・舌所見とれず。胸脇苦満、下肢に強い浮腫あり。両胃経を圧すると気持ちいいとのこと。下腿の冷えあり。太溪軟弱、脾経軟弱、行間圧痛

【東洋医学的弁証】

肝胃不和・脾腎陽虚

【方法】

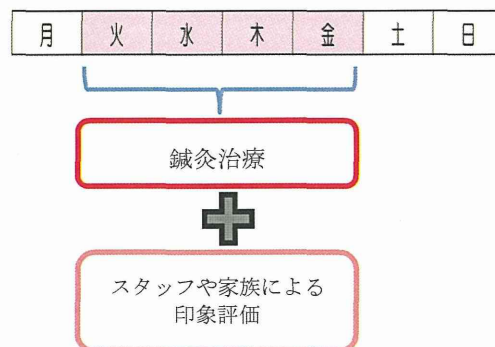


図 1. 治療の流れ

鍼灸治療は火曜～金曜までの週 4 日間。患者負担を考え、治療時間は 10 分程度。患者に不安感があった場合、5 分ほど話をする時間を確保した。

【使用鍼具】

毫鍼：セイリン社製、直径 0.12mm×長さ 15mm を 2mm 程度の刺鍼で行った。

円皮鍼：セイリン社製、直径 0.2mm×長さ 0.6mm を使用した。

e-Q（電子温灸器）： 45±2℃、5 秒設定にて使用した。

【評価】

VAS 評価は治療前後にて行った。ただし、化学療法などで倦怠感が強く、患者負担がかかる場合は医療スタッフのカルテ記載から抜粋した。全体的な印象評価として患者コメント、医療スタッフのコメントをカルテから抜粋し、評価とした。

【経過】

1診－2日目

● カルテ

抗がん剤（イホマイド）治療および放射線療法1クール目開始。

16時半、右骨盤の痛みは少なくなってきた。

レスキュー使用回数2回

1診－1日目

● カルテ

胃付近に圧迫感があり。呼吸困難あり。昼食1/4とイチゴ3個のみ。

1診目

● カルテ

排ガスがあるも膨満感あり。痛みが軽減しており、放射線療法が効果あったのか。

23時便失禁あり。

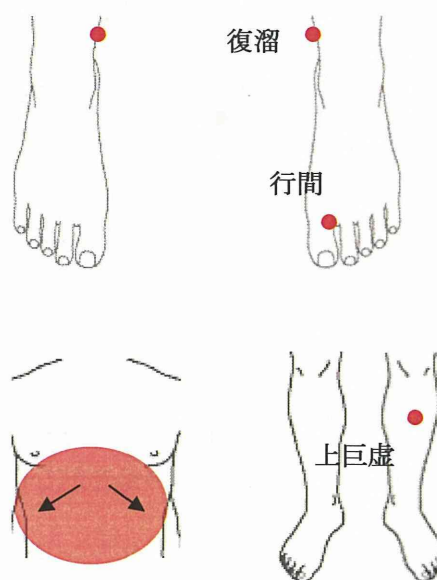
● 鍼灸

リニアック時間のため脈・舌とれず。

便通：ガス・便ともに出ているが、腹

部膨満感が強く、常に張った感じがある。腹部膨満感VAS：13mm（便出した後の為）

治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、復溜、左行間、〈鍉鍼〉腹部小児鍼、〈円皮鍼〉左行間を使用した。



2診目

● カルテ

本日からオキシコドン塩酸塩（錠剤）80mgに減量、オキシコドン塩酸塩水和物（レスキュー）10mgに減量。19時頃レスキュー使用するも痛み軽減見られず。

● 鍼灸

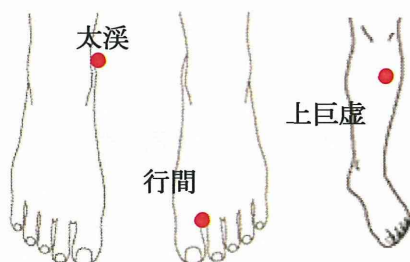
「あの後、夜中に便もおしっこも出ました。その時はしんどかったんですけど、出し切ったらお腹ペタンコですし、張った感じはないです」

脈診：肝弦、腎無力。

舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張。

腹部膨満感VAS：19mm

治療部位：〈毫鍼〉左行間、左上巨虚、右太溪、〈円皮鍼〉左行間を使用した。



3診目

- カルテ

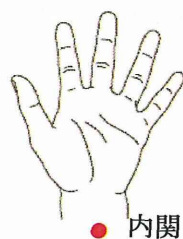
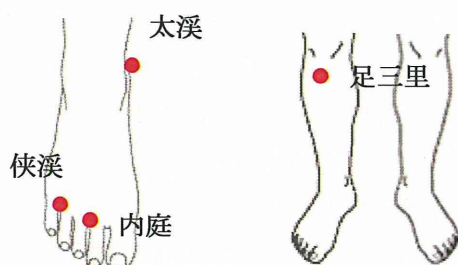
本日の午前で化学療法クール終了。11時足の痛みを訴えるが薬を飲むほどではない。

- 鍼灸

倦怠感が強く、しんどい

脈診：細、数、滑。下腿熱感強い。強刺激にならないよう、円皮鍼のみで行った。

治療部位：〈円皮鍼〉左内関、左足三里、右太溪、右内庭、右侠溪を使用した。



4診目

- カルテ

両下腿浮腫軽減、腹部膨満感軽減。20時「口の中にでき物ができている」下口唇の裏に二つ、白色粒状のものあり。

- 鍼灸

「あのあと楽だったんです。先生を待っていたんですよ。鍼があったかい感じがして、気持ちいい。便もガスも出てます」

脈診：右浮・滑、一息六至。

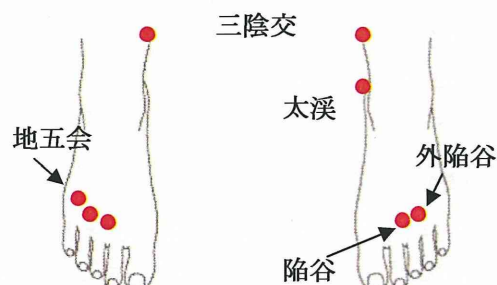
舌診：淡紅舌、無苔、胖嫩舌、舌下静脈怒張。

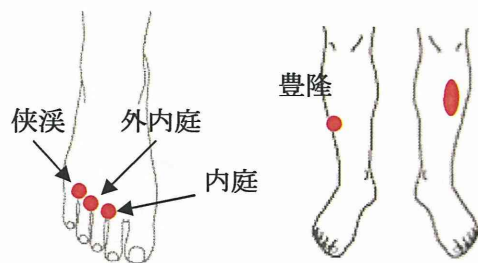
排便：本日0回。

腹部膨満感VAS：65mm→治療後48mm

右下肢外側の痛み：52mm→治療後37mm

治療部位：〈毫鍼〉三陰交、左太溪、右豊隆、左陷谷、左外陷谷、（単刺）右陷谷、右外陷谷、右地五会、左上巨虚～下巨虚、〈円皮鍼〉右内庭、右外内庭、右侠溪を使用した。





5診目

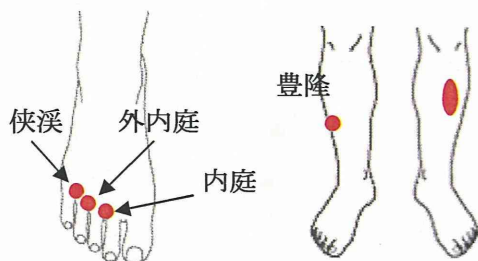
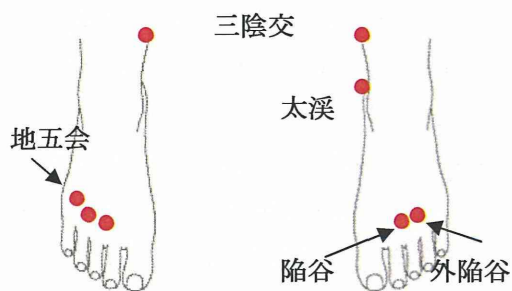
● カルテ

「痛いのは、朝痛いんですけど、鍼灸がまたいいんです。おすすめです」
レスキュー使用回数全3回

● 鍼灸

「鍼をすると、足がスツとするんです」
腹部膨満感VAS：43mm

治療部位：〈毫鍼〉三陰交、左太溪、右豊隆、左陷谷、左外陷谷、（単刺）右陷谷、右外陷谷、右地五会、左上巨虚～下巨虚、〈円皮鍼〉右内庭、右外内庭、右狭溪を使用した。



6診目

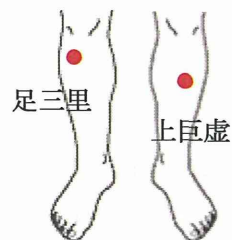
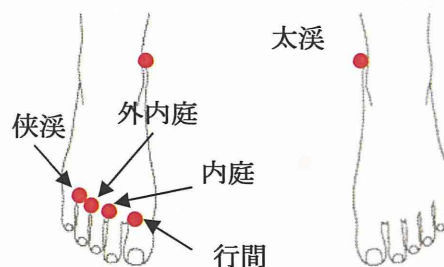
● カルテ

「鍼灸してもらってからですかね。凄く楽で。今日は朝痛みませんでした」
レスキュー使用回数全5回

● 鍼灸

腹部膨満感VAS：34mm→治療後32mm
右下肢外側痛VAS：47mm→治療後34mm

治療部位：右足三里、左上巨虚、太溪、右行間、〈円皮鍼〉右狭溪、右内庭、右外内庭を使用した。



7診目

● カルテ

食欲が出てくる。朝、夕持込食、昼食7割摂取可能となっている。
レスキュー使用回数全4回

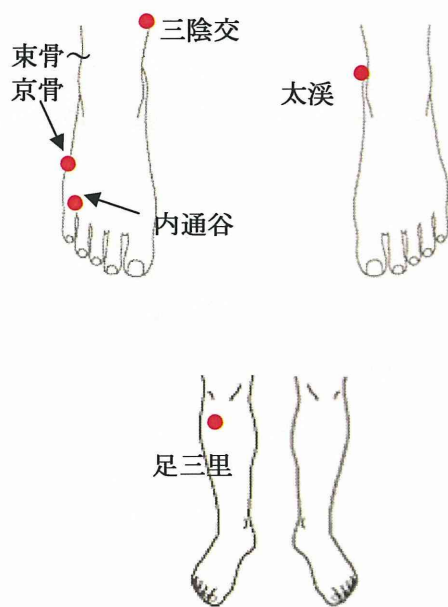
● 鍼灸

「この時間帯から痛みが強くなるので、これくらいですね」
脈診：弦、数（一息六至）

右大腿後面痛VAS：57mm→治療後32mm

腹部膨満感VAS：16mm→治療後15mm

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左太溪、右三陰交、右束骨と京骨の間、右内通谷、〈円皮鍼〉右束骨と京骨の間、右内通谷



8診目

- カルテ

左下肢の運動機能に変化なし。下肢浮腫が改善した分、動きやすそう。

レスキュー使用回数全4回

- 鍼灸

「足が以前よりも軽い感じがします」

脈診：脾やや滑、肝弦。

舌診：淡紅舌、薄白苔。

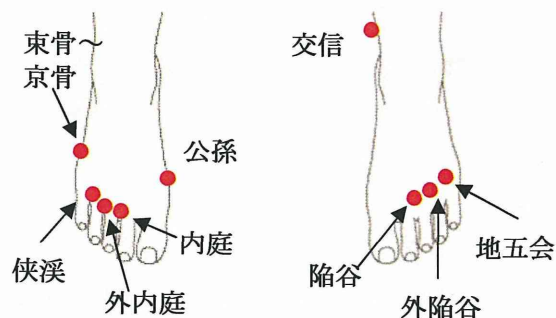
右足太陽経、足太陰経に強い圧痛あり。

右大腿後面痛VAS：45mm→治療後40mm

腹部膨満感VAS：48mm→治療後35mm

治療部位：右内庭、右外内庭、右侠溪、右

束骨と京骨の間、右公孫、左交信、〈鋤鍼〉胃経、脾経、〈円皮鍼〉左陷谷、左外陷谷、左地五会を使用した。



9診目

- カルテ

レスキュー使用回数全4回

- 鍼灸

鍼してもらったり、圧してもらったりすると足の裏がポカポカして、気持ちいいです。

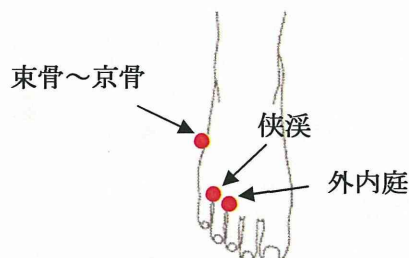
脈診：滑、虚、沈、舌診：淡紅、胖大、嫩舌、舌下静脈怒張

便通：3回

右大腿外側部痛VAS：38mm→治療後30mm

腹部膨満感VAS：30mm→治療後23mm

治療部位：〈円皮鍼〉右束骨・京骨の間、右侠溪、右外内庭を使用した。※リニアック直前だったため、円皮鍼のみ



10診目

- カルテ

「今日は痛いですね」

レスキュー使用回数全5回

- 鍼灸

昨夜、熱発しましたが、今日は安定しています。今日は右足の浮腫みがきつい感じがします。

脈診：肝微弦、細、数（一息七至）。

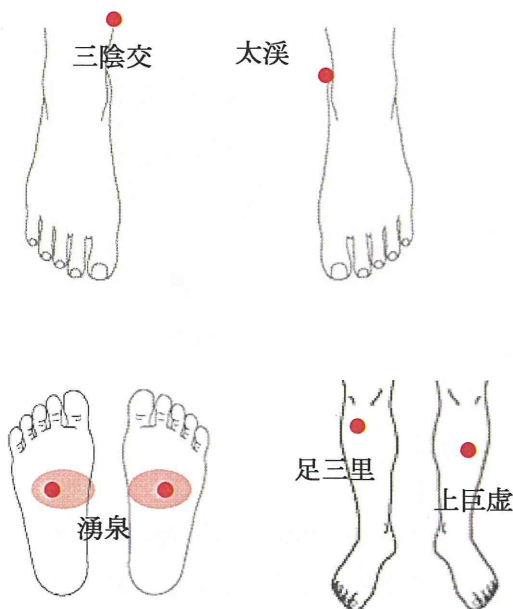
舌診：紅舌、胖大、舌下静脈怒張。

右大腿外側部痛VAS：30mm→治療後23mm

腹部膨満感VAS：24mm→治療後11mm

施術中、排ガスあり。

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左上巨虚、左太溪、右三陰交、湧泉～公孫を使用した



11診目

- カルテ

18時に普通便多量

レスキュー使用回数全6回

- 鍼灸

「昨日より、痛みはありません」

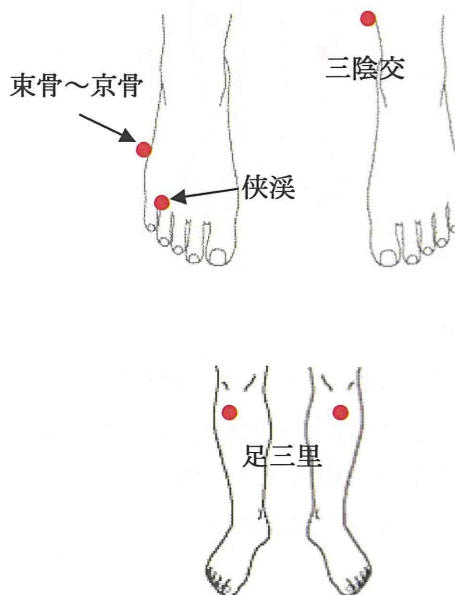
脈診：滑。

舌診：淡紅、胖大、舌下静脈怒張。

右大腿外側部痛VAS：26mm→治療後×

腹部膨満感VAS：18mm→治療後×

治療部位：〈毫鍼〉足三里、右束骨・京骨の間、右侠溪、左三陰交を使用した。



12診目

- カルテ

「胃の張りはなくなりました」

自己排便あり。

レスキュー使用回数全4回

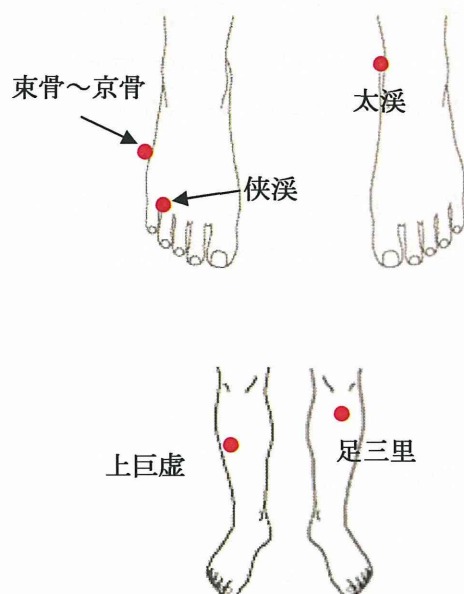
- 鍼灸

土曜、日曜はちょっと調子悪いみたいです。

右大腿外側部痛VAS：57mm→治療後27mm

腹部膨満感VAS：35mm→治療後15mm

治療部位：右上巨虚、左足三里、左太溪、
右束骨・京骨の間、右侠溪を使用した。



13診目

● カルテ

9時、「調子いいです。食事入ります」
13時、「朝5時半には起きてます。動いた時に少し痛みます」(NRS：5)
レスキュー使用回数全2回

● 鍼灸

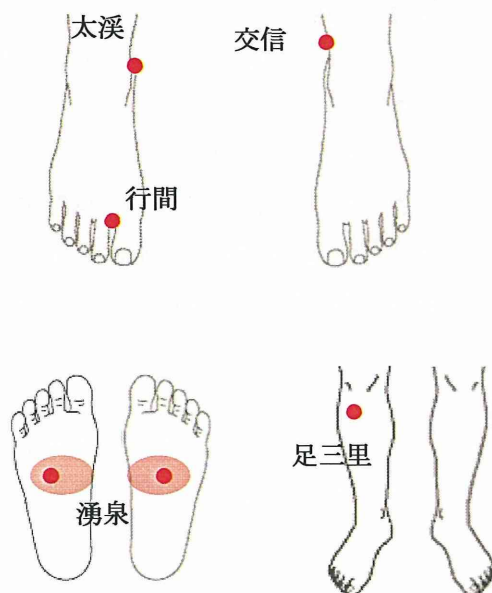
「痛みは落ち着いています。今日はバレンタインでしょ？なんか甘い物とか急に食べたくなりますよね。今も食べていました。夜はぐっすり眠っています。だからお腹すくっていうか・・・あ、先生、それは何のツボですか？イタ気持ちいいというか。(考え事、心配事、悩み事で痛くなりますよ) 考え事…していますね。来週のケモとか家のこととか色々心配で」

脈診：虚、数、腎無力、脾微弦

右大腿外側部痛VAS：33mm→治療後20mm

腹部膨満感VAS：17mm→治療後13mm

治療部位：＜毫鍼＞右外関、右足三里、右太溪、左交信、右行間、＜鍔鍼＞湧泉を使用した。



14診目

● カルテ

「痛みの間隔が長くなったみたい。食事は入ります。体もしんどくないです」
レスキュー使用回数全4回

● 鍼灸

「来週から抗がん剤治療が始まるけれども、鍼灸治療受けていいの不安。」

(何が不安ですか?) 前回、わけわからない状態になって、変なこと言ったりしたらどうしようとか…。評価ちゃんとできるかも不安…」

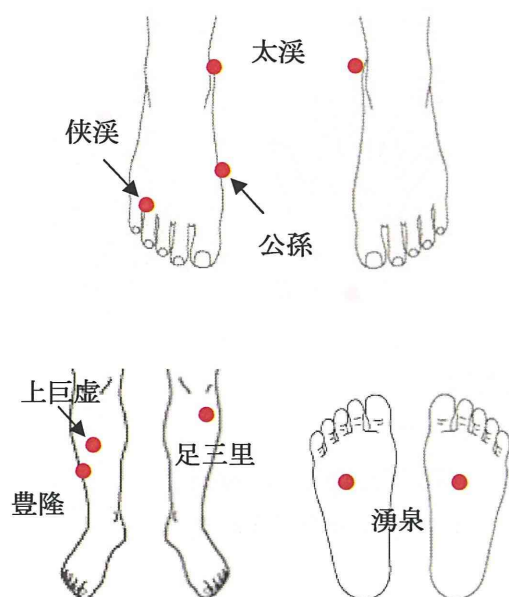
脈診：一息六至、滑

舌診：淡紅、薄白苔

右大腿外側部痛VAS：40mm→治療後25mm

腹部膨満感VAS：16mm→治療後20mm

治療部位：〈毫鍼〉左足三里、右豊隆、右上巨虚、右侠溪、太溪、〈鍔鍼〉右公孫、湧泉を使用した。



15診目

● カルテ

昨日：抗がん剤（イホマイド）治療および放射線療法2クール目開始。左下肢の神経症状回復。「吐き気はないです。

ただ眠いだけです」

レスキュー使用回数全3回

● 鍼灸

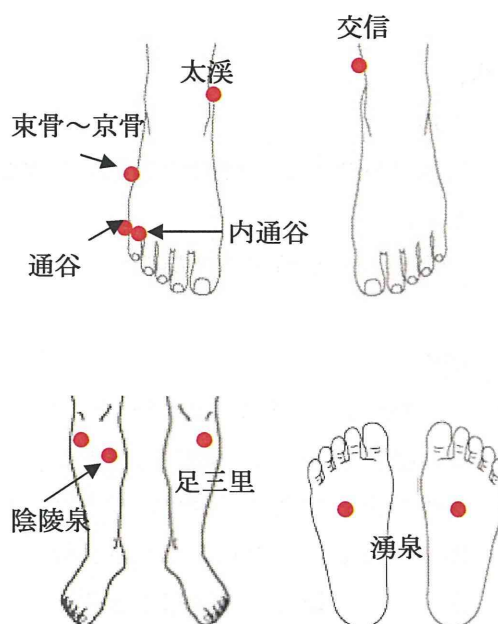
「毛が抜け始めました」

脈診：滑、一息六至。

舌診：淡紅舌、薄白苔。

便通：一昨日2回、昨日なし、本日なし。

治療部位：〈毫鍼〉足三里、右太溪、左交信、右陰陵泉、右通谷、〈円皮鍼〉右束骨・京骨の間、右内通谷、右太溪を使用した。



16診目

● カルテ

「しんどくなってきました」抗がん剤による食欲低下、倦怠感出るも治療は継続する。

19時、呼吸困難あり。

レスキュー使用回数全3回

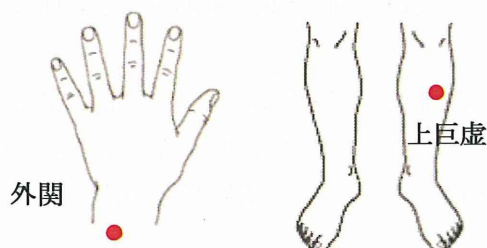
● 鍼灸

抗がん剤治療により、倦怠感増悪。

脈診：数（一息六至）。

滑、舌診：淡紅舌、肿大、湿潤

治療部位：〈円皮鍼〉左上巨虚、左外関を使用した。



17診目

● カルテ

1:40にレスキュー使用するも痛み軽減せず。

レスキュー使用回数全7回

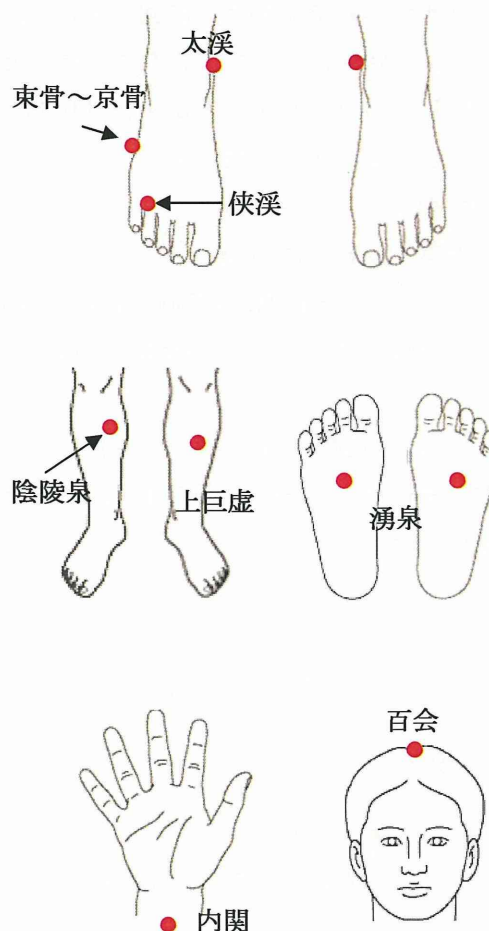
● 鍼灸

「0時からしんどくて眠れなかった。今日、昼に浣腸して、排便しました」
医療スタッフより「便秘がひどく、浣腸をしました。なんとかありませんか？」と口頭で排便治療を依頼。
脈診：右内関緊張、太溪軟弱、脾経軟弱、声は弱々しく力がない。

※VAS取れるような状態ではなかった。

治療部位：〈鍧鍼〉太溪、右陰陵泉、右侠溪、右束骨・京骨の間、右内関、百会、左上巨虚、湧泉（膀胱経寄りに索状硬結を認める）を使用した。

※治療中：「気持ちいい、じんわり温かい感じしてボ〜ッとします」とコメントあり。



18診目

● カルテ

10時自己排便（水様便）。

レスキュー使用回数全7回

● 鍼灸

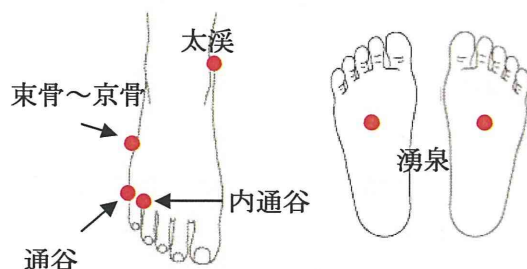
「今朝、大量の水様便がでました。あの後スッキリしました。なんでそうなったのか心配だったんですけど、鍼の効果ですか？→昨日、たしかに便秘のツボ使ったのでそれもあるかもしれません」痛みの部位が外側からやや後面に移動。

脈診：細、数（一息六至）、滑

右大腿外側部痛VAS：65mm→治療後43mm

腹部膨満感VAS：5mm→治療後3mm

治療部位：〈腧鍼〉右束骨・京骨の間、右通谷、右内通谷、右湧泉、〈円皮鍼〉右内通谷、右太溪を使用した。



19診目

● カルテ

昨日：イホマイドおよび放射線療法2クール目終了。

11時「食べてみようという気分になった」

レスキュー使用回数全6回

● 鍼灸

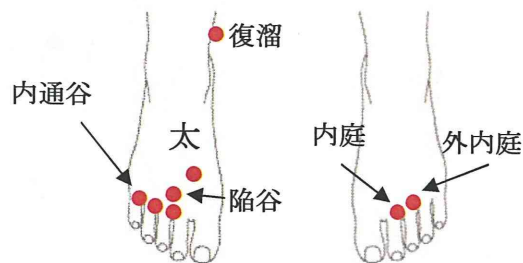
「金曜日～日曜日まで硬めですけど、便は出ました。月曜日は0回。火曜日はコロコロした便が出ました」

脈診：弦、数（一息六至）。

舌診：淡紅、嫩舌、舌下静脈怒張、

切診：腎経の緊張あり

治療部位：〈毫鍼〉右内通谷、右太衝、右陷谷、左内庭、左外内庭、右復溜、〈腧鍼〉内庭、外内庭を使用した。



20診目

● カルテ

2時「急に痛くなって、寝返りも打てない」

レスキュー使用回数全4回

● 鍼灸

「昨夜眠れず、家族の事、病気の事、色々考える（心配ですか？）そう。（何が心配なのですか？）・・・」

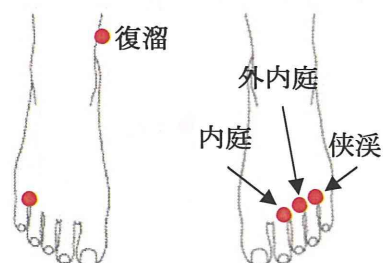
脈診：腎弦。

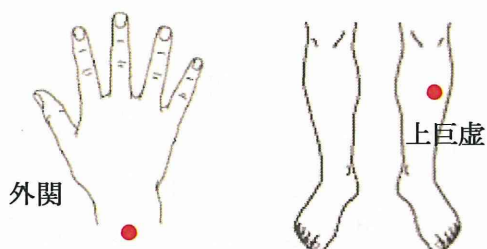
舌診：淡紅舌、舌下静脈怒張。

右大腿後面痛VAS：52mm→治療後43mm

腹部膨満感VAS：50mm→治療後37mm

治療部位：〈毫鍼〉左内庭、左外内庭、俠溪、右太溪、右外関、右復溜、左上巨虚、左内関、〈円皮鍼〉左内庭、左外内庭、左俠溪、右太溪、右外関を使用した。





21診目

● カルテ

「しんどくありません。むしろ元気になった気がします」

レスキュー使用回数全3回

● 鍼灸

「今日はムカつきがあります。食べたいと思って、起き上がると食べたくなくなって…。脂っこい物を見るだけでもウツってなります。右足が浮いてくる感じがするんです。軽くなってきたからかしら？」

脈診：滑、数(一息六至)

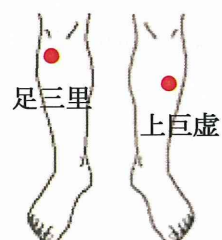
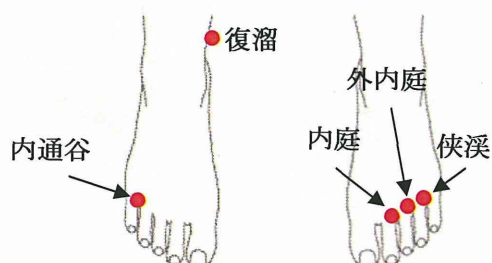
食欲：気持ちだけは食べようと思える。

右大腿後面痛VAS：54mm→治療後40mm

(足があげやすい)

腹部膨満感VAS：36mm→治療後27mm

治療部位：＜毫鍼＞右足三里、左上巨虚、右内通谷、左内庭、左外内庭、左侠溪、＜円皮鍼＞右内通谷、右太溪を使用した。



22診目

● カルテ

「同じ感じですが。だけど今日は調子がいいの」

レスキュー使用回数全4回

● 鍼灸

「今日はまだ便出てません。治療してもらってから唾液がサラサラしてたんですけど、お昼頃から話していると唾液がサワー状にアワアワしてるんです」

脈診：浮、胃滑、腎無力。

舌診：淡紅、舌下静脈怒張

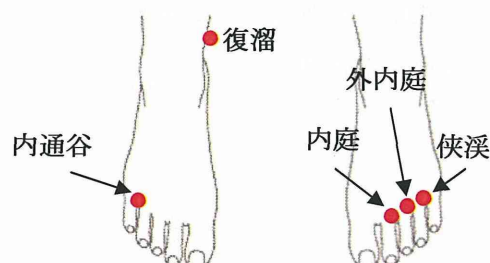
睡眠：21：00～4：00、痛み止めのんで5：30まで眠れた

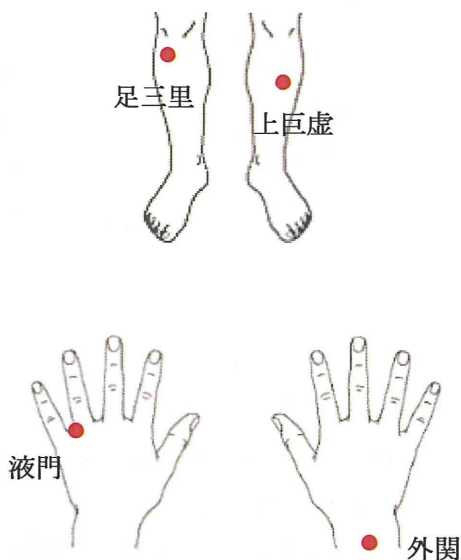
右大腿後面痛VAS：34mm→治療後37mm

(変化なし)

腹部膨満感VAS：47mm→治療後32mm

治療部位：＜毫鍼＞左内庭、左外内庭、左侠溪、右内通谷、右復溜、右足三里、左上巨虚、＜円皮鍼＞左液門、右外関を使用した。





23 診目

● カルテ

13時、「今は大丈夫です」(NRS：5～6)

15時半、血圧低めで経過するも、本人は特に自覚ない。

レスキュー使用回数全2回

● 鍼灸

昨夜は急に熱が出て、眠れなかったが、普段は眠れています。日曜日あたりから口が渇く。診察など緊張すると…特に酷いですね。水分足りないんでしょうか？唾液はサラサラして以前のように戻ってきました。

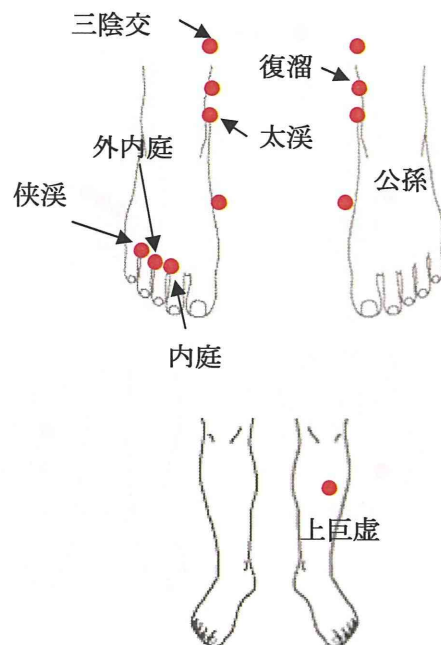
切診：右腎経上圧痛

脈診：肝・脾・腎微弦、舌診：淡紅、薄白苔、便通：-3日

右大腿後面痛VAS：32mm→治療後20mm

腹部膨満感VAS：26mm→治療後10mm

治療部位：〈毫鍼〉復溜、左上巨虚、〈鍚鍼〉右内庭、右外内庭、右侠溪、〈e-Q〉太溪、三陰交、公孫を使用した。



24 診目

● カルテ

9時、「気分いいです。よく眠れます。痛みも以前より軽い感じです」

16時、39.9kg、先週より2kg増し

レスキュー使用回数全1回

● 鍼灸

「錠剤飲めるようになりました。鍼した日の夜はよく眠れます」

脈診：滑、細、数(一息六至)

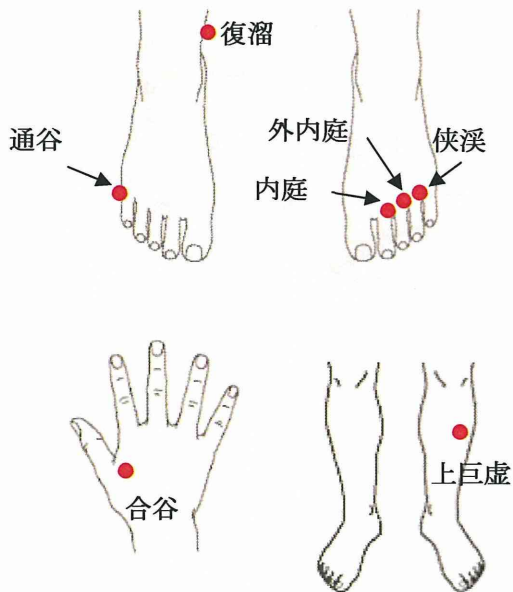
舌診：淡紅舌、薄白苔、舌下静脈怒張。

食欲：良好。便通：-4日。

右大腿後面痛VAS：21mm→治療後17mm

腹部膨満感VAS：30mm→治療後24mm

治療部位：〈毫鍼〉左上巨虚、右通谷、右復溜、左内庭、左外内庭、左侠溪、〈鍚鍼〉太溪、〈円皮鍼〉右合谷、左上巨虚を使用した。



25 診目

● カルテ

15 時、浣腸。茶碗一杯。

レスキュー使用回数全 3 回

● 鍼灸

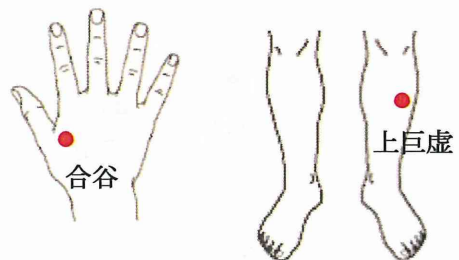
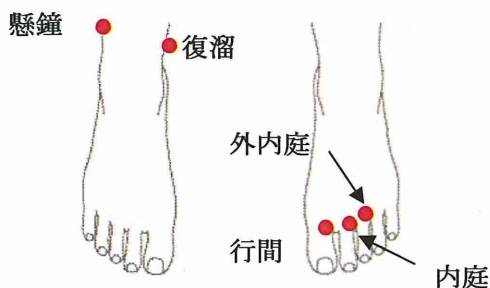
「今日、浣腸してもらいました」

脈診：滑、細、数。

右大腿後面痛 VAS：24mm→治療後 15mm

腹部膨満感 VAS：21mm→治療後 10mm

治療部位：左上巨虚、右復溜、右懸鐘、左内庭、左外内庭、〈円皮鍼〉行間を使用した。



26 診目

● カルテ

7 時、「眠たいです。あ、痛いかどうか言われたら痛いですね」

11 時、先月の CT と比較し、腫瘍に変化はなし。本人に説明する。

14 時、「便でした」こぶし 1 個分。

レスキュー使用回数全 2 回

● 鍼灸

「午前中に CT の結果を聞きました。変わっていないと言われ、落ち込みました。落ち込んで、なんか急に甘いもの食べたいなあって思ってケーキ食べました」

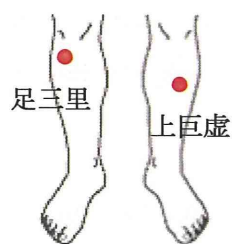
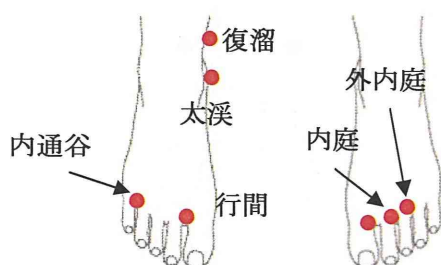
脈診：滑、細、沈、数。

舌診：淡紅舌、薄白苔、舌下静脈怒張。

右大腿後面痛 VAS：34mm→治療後 24mm

腹部膨満感 VAS：30mm→治療後 30mm

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、左上巨虚、右復溜、左内庭、左外内庭、行間、右内通谷、〈円皮鍼〉右太溪、左上巨虚、右内関、右内通谷を使用した。



26 診+3 日目

● カルテ

8 時半、「体は楽です。食事はいりました。化学療法効いていないなら家に帰りたい」
22 時、「お腹張ってます。便 2 日出てません」

27 診目

● カルテ

5 時半、「結構眠れました。起きたら、痛くなってきました」
9 時、食事はいるようになってきた。
右足背浮腫あり。
15 時、右下肺野に入院時にはないが 2 か所転移あり。この 1 カ月で増大なし (1 つ 16mm 程度)
レスキュー使用回数全 4 回

● 鍼灸

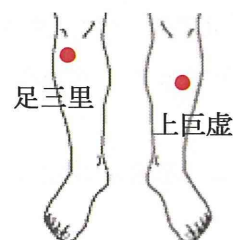
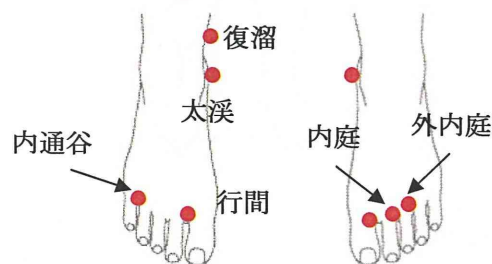
「いつもと同じです」
脈診：洪、数 (一息六至)。

舌診：淡紅舌、薄白苔。

睡眠：寝付きが悪い。

便通：2 日間出ていなかったが、本日排便あり。

治療部位：〈毫鍼〉右足三里、右復溜、行間、左上巨虚、〈鍔鍼〉右内通谷、〈円皮鍼〉太溪を使用した。



28 診目

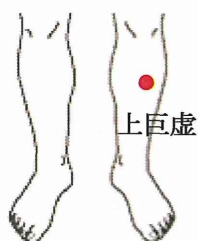
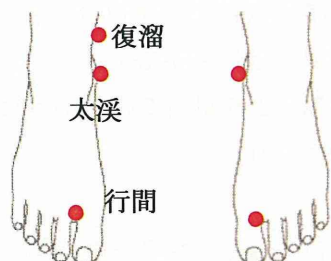
● カルテ

レスキュー使用回数全 4 回

● 鍼灸

「いつもと一緒にですね。調子はいいです。痛みはこの時間あたりから痛みが強くなってくるので、これくらいです」
脈診：腎弦、細、数。
右大腿後面痛 VAS：34mm→治療後 19mm
腹部膨満感 VAS：15mm→治療後 13mm

治療部位：〈毫鍼〉右復溜、行間、左上巨虚、〈円皮鍼〉太溪を使用した。



29 診目

- カルテ

6 時、排便少量あり。

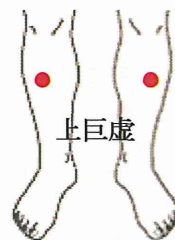
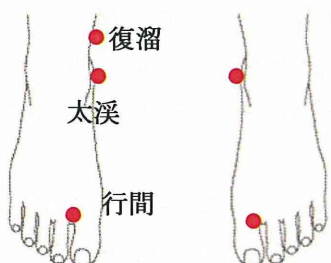
8 時、「体は楽です。食事はいります。通じありました。痛みはさほどありません」

レスキュー使用回数全 4 回

- 鍼灸

「昨日ご飯食べました。お父さんが買ってきた大きなお弁当を半分にして、全部食べましたよ。食べすぎるくらい」
脈診：腎微弦。

治療部位：〈毫鍼〉上巨虚、右復溜、行間、〈円皮鍼〉太溪を使用した。



30 診目

- カルテ

10 時半、最高血圧 80 台だが自覚なし。

レスキュー使用回数全 2.5 回

- 鍼灸

「昨日の夜、怖い夢なのかな？多分怖い夢なんでしょうけど、一回起きました。すぐ眠れましたよ」

便通：0 回

右大腿後面痛 VAS：25mm→治療後 15mm

腹部膨満感 VAS：20mm→治療後 15mm

治療部位：〈毫鍼〉右内関、右復溜、左上巨虚、行間、左陷谷、左外陷谷、左地五会、〈円皮鍼〉太溪、右内通谷、右内関を使用した。

30 診+2 日目

- カルテ

14 時半、「足も上がるし、だいぶ楽になってきたんですよ」右下肢挙上できている。痛み NRS：5 程度。

レスキュー使用回数全 3 回

30 診+3 日目

- カルテ

8 時半、「特にえらくないです。食事はいります」Hb6.3、Ht21.1、TP1.9のため、輸血を行う。

20 時、泥状便多量、失禁もあり

レスキュー使用回数全 2 回

31 診目

- カルテ

8時半、「えらくないです。食事はいります。痛みもマシ。右足動かしても痛まない」

11時、動作時で痛み NRS：5 程度。

レスキュー使用回数全 3 回

- 鍼灸

「今朝、大量に便がでました。でも、ちょっと張ってるのかな」

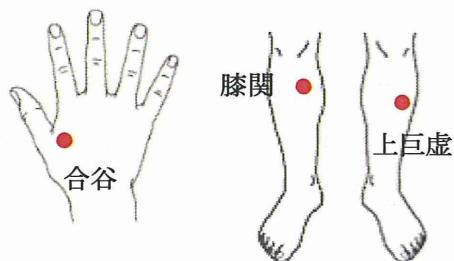
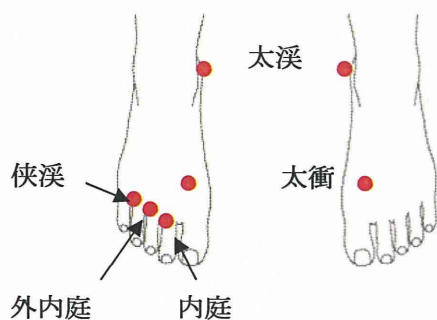
脈診：脾微弦、腎無力

右大腿後面痛 VAS：32mm→治療後 20mm

腹部膨満感 VAS：38mm→治療後 13mm

（「こんなに（腹部膨満感が）無くなるものなんですね」）

治療部位：右外関、左上巨虚、太衝、右内庭、右外内庭、右侠溪、右太溪、〈円皮鍼〉右膝関、左太溪を使用した。



32 診目

- カルテ

11時、「息子来るまで散歩してます」

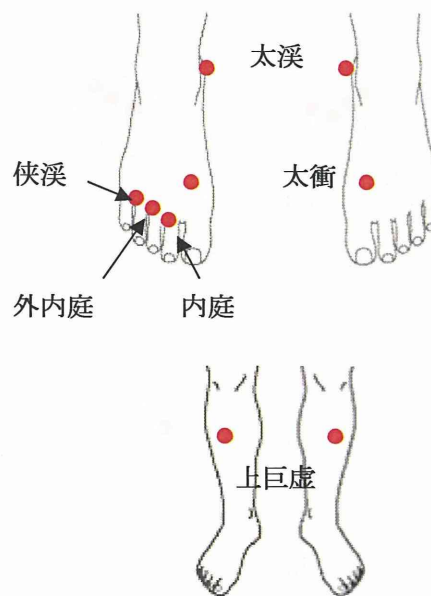
車いすにて散歩に。

レスキュー使用回数全 3 回

- 鍼灸

「今日、ケーキ食べたくまりましたね」

治療部位：上巨虚、太衝、右内庭、右外内庭、右侠溪、右太溪、〈円皮鍼〉左太溪を使用した。



33 診目

- カルテ

15時、「お風呂行きます」入浴時、痛み NRS：5 程度

レスキュー使用回数全 2 回

- 鍼灸

「なんか痛みの部位がさらに小さくなった気がします」

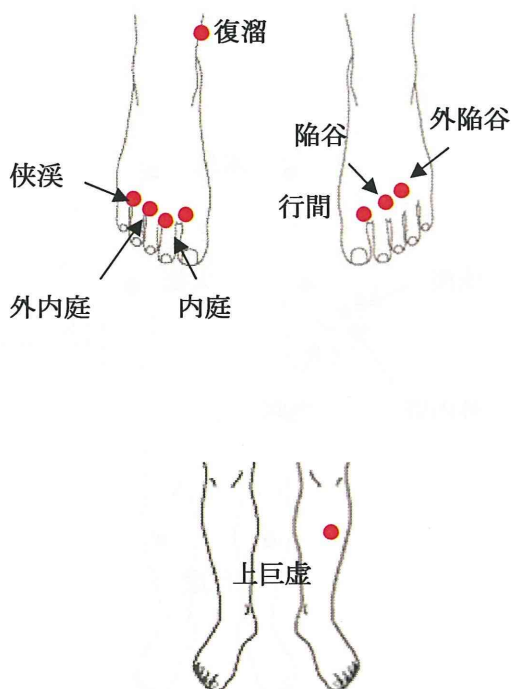
睡眠：21 時～6 時。ただし 11 時に一度覚醒。

便通：大量に出た。以前は 1 回/2～3 日だったものが、1 回/1 日～1 日半と
なってきた。

右大腿後面痛 VAS：25mm→治療後 25mm

腹部膨満感 VAS23mm→治療後 15mm

治療部位：〈毫鍼〉右復溜、右通谷、右俠溪、
行間、左陷谷、左外陷谷、左上巨虚を使用
した。



34 診目

- カルテ

レスキュー使用回数全 3 回

- 鍼灸

「明日、退院です。ちょっと不安だけ
ど、帰ってみないと分からない事もあ
りますね」終始笑顔。

脈診：腎微弦、脾滑。

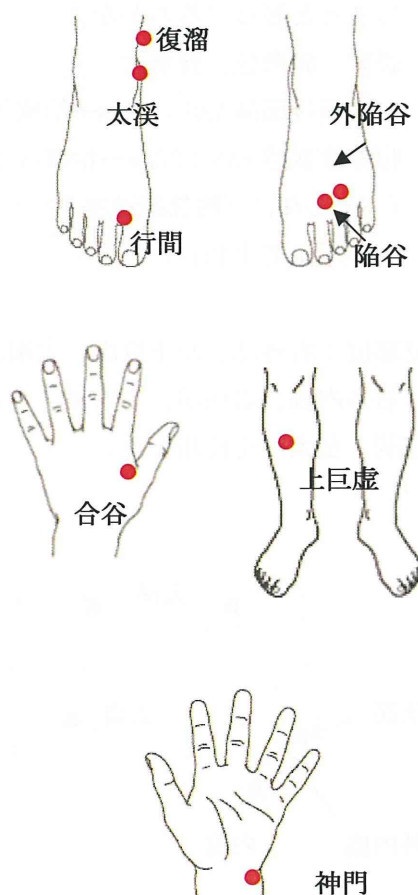
舌診：淡紅舌、薄白苔。

睡眠：23 時～6 時まで（中途覚醒 0 回）

右大腿後面痛 VAS：23mm→治療後 10mm

腹部膨満感 VAS：19mm→治療後 15mm

治療部位：〈毫鍼〉右神門、左合谷、右上巨
虚、右太溪、右行間、左陷谷、左外陷谷、〈
円皮鍼〉左太溪、右合谷、左内関、右復溜を
使用した。



【転帰】

鍼灸治療は全 34 回。最終鍼灸治療 1 日後
に退院された。今後、週 1 回の化学療法に
合わせて鍼灸治療を進めていく。

【まとめ】

本症例は右股関節にできた葉状腫瘍の痛みと腹部膨満感に対して鍼灸治療を介入した。

① 大腿後面痛(図 2)

レスキュー使用はNRS：6～7の痛みとなった時、体動時の予防的にも使用されていた。鍼灸介入前半4～5回/日にて使用されていたが、中盤になり2～4回/日まで減少。15～18診目まで化学療法介入であり、副作用である倦怠感、レスキュー使用回数も一時的に7回と増えたが回数は数日後には戻った。そのため、刺激量を通常で行う事は出来なかったため、使用経穴をできる限り少なくし、腧鍼など、より低刺激による治療を行った。

また、鍼灸介入前NRS6～7であり、強い痛みが起こる間隔は短かった。しかし、鍼灸治療の回数を重ねるたび、痛む間隔が広がり、痛みが自制内である状態の時間が長くなった。これらは患者コメントからも得られている。

疼痛部位もまた、以前は広範囲にわたり痛みを訴えていたが、退院時には限局した痛みになっていた(図 3)。

医療スタッフからは「退院が近付き気分的なものかもしれないが、レスキューの使用頻度が減っており、疼痛軽減があった」という評価となった。

②腹部膨満感(図 4)

鍼灸治療介入前は排ガス・排便するも、一時的に改善はするも、胸脇部が強く張った感じがあった。

鍼灸治療介入後からは治療前後からも膨満感は改善されていた。また、便秘が2～3日続くも、以前のような強い膨満感は消失

している。また、鍼灸治療中から排ガスや、腸蠕動音があり、直後「こんな、すぐに張った感じが消えるものなんですね」と笑顔で答えられる事が多々見られた。

医療スタッフから「(経過とともに)膨満感の訴えはなく、患者本人も『してもらったら、楽なんです』と答えていた。また、鍼灸治療後に排便がある印象がある」という評価が得られた。

③総合

鍼灸治療介入中に化学療法もあり、一時的にカンジダによる口内炎が発症した。粘々とした唾液が「気持ち悪い」と訴えられたため、口腔ケアとの併用治療を行うと、次の日にはサラサラとした唾液となり、口内は早期改善となった。今回、評価をとれずにいたが、下腿浮腫も改善した。

医療スタッフからも「本人は自身の体調が悪くても、鍼灸治療を待っておられ、とても楽しみにされていた。待っているという事から本人は効果があり心地よかったんだと考える。『もう嫌だ』という言葉は聞いた事がなく、「先生にここを触ってもらったら気持ちいい」と看護師に教えてくるほどだった」というコメントが得られた。本症例は著効の認められた症例と言え、また、患者が治療を求めても、状態を見極め、刺激量の調整する経験が必要であったと感じた。